

循環型社会を目指して

循環型社会基本法をはじめ循環6法の制定に見られるように、2000年は循環型社会の幕開けの年といわれています。

「大量生産・大量消費・大量廃棄型社会」というこれまでの一方通行の経済システムから、環境負荷を伴わない資源循環型社会を実現するため、新たな施策を実現させていく大きな転換期でもあります。

循環型社会を目指すことは、廃棄物や不要品を出さないというだけでなく、地域資源を有効に活用し、自立的な地域創造に向けた第一歩でもあります。

地域資源循環、環境問題、エネルギー循環など、循環型社会を目指すさまざまな取り組みを探ってみます。



Contents 目次

Interview : インタビュー ①01

地域内循環によるコミュニティの再生・地域通貨

北海道大学経済学部助教授 西部 忠

Contribution : 寄稿08

ゼロエミッションと地域

株式会社荏原総合研究所 顧問 松村 知

Case Study : 地域事例 ①14

資源循環型のまちづくりに取り組む -厚岸町-

Interview : インタビュー ②18

環境政策先進地・ドイツの視点から

シュマック・バイオガス有限会社 ビアンカ・フルスト

Case Study : 地域事例 ②23

住民との連携によるリサイクル -富良野市-

Report : レポート26

ゼロエミッションへの挑戦 民間企業の取り組み

町村農場・株式会社アレフ

Case Study : 地域事例 ③30

「風」のまちから「風車」のまちへ -苫前町-